

❖ ビジター
川田 隆志様（小田原中RC）

❖ 奥様誕生日
臼井 ベビージェーンさん（7月29日）

❖ ニコニコ箱
櫻井 康二 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
7月28日分	5,000	84,000	1,300,000

＊ビジター
川田 隆志様（小田原中RC）…お邪魔します。
＊その他
小嶋 章司さん…川田さんようこそ。近々いっぱいやりましょう。
木村 啓滋さん…所用により中座させていただきます。申し訳ありません。
鈴木 竜哉さん…先日の歓迎会では大変お世話になりました。ご多忙の中、ありがとうございました。

■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■

-2015年8月-

- ▶5日(水) 小田原北 納涼例会
- ▶6日(木) 小田原中
- ▶7日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「ガバナー補佐訪問」
- ▶7日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話：担当 R財団」
- ▶10日(月) 小田原 休会
- ▶11日(火) 箱根
- ▶12日(水) 小田原北 休会
- ▶13日(木) 小田原中
- ▶14日(金) 湯河原 休会
- ▶14日(金) 足柄 休会
- ▶17日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話:本多正八会員/「戦後70年をむかえ～旧陸軍幼年学校と士官学校」
- ▶18日(火) 箱根
- ▶19日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:石上和敬武蔵野大学教授（神谷町光明寺住職）の「日本の宗教」
- ▶20日(木) 小田原中
- ▶21日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「ガバナー公式訪問／クラブ協議会②」
- ▶21日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話：担当 クラブ広報委員会」
- ▶24日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話:クラブフォーラム③（会員増強）」
- ▶25日(火) 箱根
- ▶26日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：中村会員/会員増強フォーラム」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電 話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創 立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監 修：柳井 渉
編集長：小林 和彦
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：大川 久弥・杉本 博愛

会員数：46名



RAC

会員募集中

相応しい会員をご紹介します！



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ



世界へのプレゼントになろう

【R.I. 会長】
K. R. ラビンドラン
【R.I. 2780地区ガバナー】
田中 賢三
【第9グループガバナー補佐】
石崎 孝



【会 長】木村 頼弘
【副会長】久保田 知子
【幹 事】柳井 渉
【副幹事】須藤 公司
【会場監督】西 寛

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

本日の例会：通常例会（第1899回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2015年8月4日 12:30～13:30
司会：須藤 公司 副幹事

12:30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 国歌斉唱 ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	卓話：マイナンバー制度について/大谷会員
13:30	閉会点鐘：木村 頼弘 会長

寄 稿

「月間に因んで」

ロータリーの目的の本質は、奉仕の理想の責任の受諾である。では奉仕の理想とは何かと申しますと、どんな職業でも利益は奉仕に対するご褒美として与えられたものでなければ成らない。と言うのがロータリーで言う奉仕の理想であります。その奉仕の理想をいっそう高めて世界中に広げてゆくのが、私達会員の目的でもあり務めでもあります。ゆえにこういう奉仕の理想に賛同してくれる仲間を多く増す事。これが真の会員増強であります。奉仕の理想の奉仕とは、献身的に国家社会の為に尽くす事であります。又、新会員の推薦は全会員一人々の義務であり、権利でも有ります。ローアリークラブの8月は会員増強退会防止（会員維持）月間です。五大奉仕を円滑に実践して参るには、会員増強推進せねばなりません。すべての組織は自然に任せておけば、会員の高齢化、病気あるいは転勤や引越等で会員が減少してまいります。ロータリークラブも例外ではありません。

ではロータリークラブにとって会員増強がなぜ重要なのでしょうか。

- (1) 新しいロータリアンはクラブに斬新なアイデアや新しい関心事項をもたらし、クラブの活力を増す。
- (2) 知り合いが広がり奉仕の能力が増す。
- (3) ロータリー財団や米山奨学会へのプログラムへ参加者が増え、ロータリーの使命を推進する事が出来る。
- (4) 新会員は将来のロータリー指導者の候補者と成るばかりではなく、クラブやロータリーの長期的存続をもたらす筈であります。

そこでよく耳にする会員の量と質の問題や退会防止、及び貴方はロータリアンですか、只の会員ですか、の問題もあるうかと思いますが、指導者育成委員会と協力して一日でも早く真のロータリアンに成れる様、先輩会員は行動を共にしたり、いろいろとサポートをしてあげる事で解決すると私は考えております。

河野 秀雄

例会報告：2015年7月28日（晴れ）第1898回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2015年7月28日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶

「会員増強」について
 木村 頼弘 会長
今日はこの後、会員増強のクラブフォーラムがあります。また8月は会員増強・拡大月刊です。今日は「会員増強」についてお話ししたいと思います。会員増強はどこのクラブも永遠のテーマです。そしてこの会員増強、やはり必ず議論されることは、量と質の問題です。

会員が今減少しているこのような状況の中で、ただ闇雲に人を入れて量を増やせばいいのか、それともロータリアンとしてふさわしい人を選んで入れるべきではないのか、という問題が必ず議論されてきました。しかし、人の質というものを基準に判断すればいいのか非常に難しい問題です。その人の肩書や地位が立派だったり金持ちだからといって決してふさわしい条件とは思いません。また、入会前にふさわしい人物かどうか見極めるという事も非常に困難な事です。でも、唯一ふさわしいかどうかを見極められる事が出来るとすれば、それは一番身近にいるスポンサーしかおりません。以前は当クラブにも会員選考委員会がありRCにふさわしい人財であるか、判断する委員会がありました。しかし、そこでいくら話し合っても人の本質を見極めることは難しかったと思います。ですからスポンサーというのは、ただ単に気軽に人を入れるのではなく、やはり入会者を決める上で、的確な判断しなければならない大切な役割を忘れてはならないと思っています。また今までは、どちらかと言えばスポンサーの独自の判断で入会者を決めていたケースがほとんどだと思います。そして理事会に懸けた所で、たいして議論もされずに入会が決まってしまう。それもそのはず、入会に至るまでのきちんとしたマニュアルもまた、入会者に対する情報もないし全てスポンサーの判断に委ねていたので致し方ない事だと思います。しかしこれからは、スポンサーの判断だけではなく入会候補者に対して「思いやりの心が」があるならばロータリーの必要知識また、ロータリーに対する理解を事前に導くという事が大切だと思います。その為に当クラブにもロータリー情報委員会があるわけです。今までは、この情報委員会あまり活躍の場が少なかった様なので、今後はこの情報委員会とスポンサーそして会員増強委員会が連携をとって人財確保にあたる事がとても効果的な手段だと考えております。それが結果的に、退会防止にも大きく影響を与えるのではないかと考えております。今までも、折角入会して頂いたのに辞めていく姿を見ると、非常に残念で忍びがたい思いです。今後は、スポンサーの良識ある判断とそして情報委員会の協力、会員増強委員会の情報この3つが会員増強、退会防止にあたるととても重要な鍵になると思います。ロータリー活動の基盤はやはり人財です。様々な活動を有意義に行うには、クラブに対する情熱をもった人が多ければ多いほど、安定した活動が継続されるものです。これからも、単なる会員を増やすのではなく、ロータリアンになる人財を増やしていきたいと思っております。

❖ 幹事報告

 柳井 渉 幹事
1)8月のロータリーレートは7月と同じ124円です。
2)ロータリーの友から表紙写真の募集が来ています。

❖ 出席報告

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
7月28日	46(42)	34	1	83.33%
7月21日	46(42)	33	4	90.48%
7月14日	46(42)	34	2	88.10%

【欠席者】8名
菊地 義雄、志澤 昌彦、小林 和彦、大野 英明、露木 清勝、西 寛、齋藤 永
【今回MU】1名
露木 清勝（7/15 小田原城北RAC）
【前回MU】1名増加
菊地 義雄（7/24 足柄RC）
【前々回MU】増加なし

❖ 卓話

「クラブフォーラム・会員増強について」
 会員増強委員会・小嶋 副委員長
昨年2780地区は純増が108人でした。Eクラブができたのでその人数も含まれています。65クラブ中、会員が増えたのは43、増減なしが10、マイナスになったのが12。城北RCは8人入りしましたが、8人抜けていますので水平状態となります。RIからは2780地区に対して、クラブ数現在の65から75に、会員は2,374人から2,850人にして欲しいという要請が来ています。現在日本のロータリーは3ゾーンあり、RIの理事に2名送り込むことができます。ところがこのまま行くと日本は2ゾーンになる可能性があり、そうなるとRI理事は1人しか出せません。その点で執行部は頭を痛めているようです。今世界では台湾とインドがものすごく伸びています。どちらも国際ロータリーの理事へ送り込むための努力をしているのではないかと思います。政治的な匂いがしないでもありません。「具体的にどうしたら増強ができるか、どうやって新人が入ったか、そういう話を」とよく言われます。なかなか特効薬はありませんが、参考のために二つお話しします。

2780地区に64番目のクラブとして相模原橋本ができました。橋本は俗にいうテリトリーを狭くしたのです。小田原の近くで言いますと松田で立ち上げるなら、開成や山北の人に普通声をかけるでしょう。それを一切せずに橋本のみで発足しました。それが『我が町のRC』『俺の(私の)RC』というコンセプトに繋がり、48人もの新人が集まったそうです。もう一つは適正人数の考え方です。例えば私たち城北RCの適正人数が50人だとしたら、50人になったら増強しない、1人欠けたら1人入れる、50人揃っていたら希望者がいても断って待機してもらう。それくらい強いクラブにしたらどうでしょうか。参考にしてみてください。

 辻村 エレクト
6月末に地区の会員増強・会員維持セミナーを受けてきました。田中ガバナーは「地区増強目標は純増10%UP」と挙げられました。例として橋本RCや上田くんの話などいくつか触れられ、その後グループに分かれてディスカッションをしました。会員増強・維持で何が一番必要かと考えると、クラブの活動・例会の充実で魅力あるクラブを作ることです。それによって入会希望者やお友達が誘いやすくなる、皆のためになることだと理由づけできるのがベストな状態だと思います。本当に心からお友達を誘えるようなクラブにしたいです。今日の席割は魅力あるクラブ作りや例会・親睦の充実に繋がるよう5人グループにさせていただきました。グループごとに親睦会を開くなどぜひ色々な活動をしていただき、仲良く魅力あるクラブ作りに繋げて行っていただけたらと思います。ディスカッションでは候補者名簿を出し、増強のために何をしたらいいのかを考えてみてください。

4番テーブル・石坂会員
とにかく身近なところから、仕事の取引先等関係者や町内会・自治会から声をかけてみよう。対象者の立場を考慮し、どういう声のかけ方をしたらいいのか考える。声をかけやすい人ばかりでなく、そこから零れてしまっているような人にも声をかけたい。小田原市も人口減少が進んでいるので、それを考えながらの増強も必要ではないか。卓話の内容や講師の方も根本から考え直して、より充実した卓話をしていくのが良いのではないか。会員同士の関係作り、紹介者だけでなく皆がスポンサーになる感覚も重要です。メディアを利用したロータリーのアピールは小田原全体のクラブで取り組めると思います。厳選したメンバーをとの声もありますが、やはり人数がいて組織は構成されるものなので、会員増強に取り組みたいと思います。

10番テーブル・櫻井会員
新会員候補は1人も名前が上がりませんでした。これからの会員増強の方法として、例会の見学会はどうでしょうか。今までは見に来てもらって終わりでしたが、例会後に執行部やロータリー情報委員会の方などを含めて、印象をお聞きする場を設けたら良いのでは。本人の入会意思がある程度決まった段階でスポンサーと執行部の少人数で会食などしてから入会の段取りへ進むようにすれば、退会防止にも繋がるかと思っています。

9番テーブル・上田会員
まずは個人の魅力をしっかり高めること。若い世代で委員会などの枠を超えて月1回程度集まり増強を考える。ベテランの方々には退会防止を考えていただく。10人に声をかけて1人入るかどうかの状態ですので、若い会員がアクションを起こさなければいけません。現在インターネットやホームページなど色々なものがあって、地元で商売する時代ではなくなっています。でもだからこそロータリーのように地域に根ざした団体が必要ではないでしょうか。一時期73名くらいまでの勢いでいかないと今の50人を維持できないのではないかと思います。候補者は9名上がりました。

木村会長
（入会時の話）
RCをほとんど認識しておらずなかなか決断できませんでした。が、食事会に誘われた場で「じゃあそろそろ入るか」と入会しました。知識の有る無しは関係なく本人の心持ち次第だと思います。

柳井幹事
（入会時の話）
何も知らずに入りましたが、実際幹事までやれるようになったのは皆さんのおかげです。若い人たちが会員増強で人数を増やして上の方に維持をしていただくという方法は良いと思います。

私たちは私たちなりのしっかりした増強活動をしていきたいと思っています。皆さま全員に心がけていただかないと難しいので今後ともよろしく願いいたします。